

木製おままごとキッチン玩具で指不全切断の事故が発生しました

都内保育施設において、1歳児が、以下写真にある「木製おままごとキッチン玩具」の、扉部分に左手の中指を挟んで出血する事故が起こりました。（診断名：左手中指不全切断）児童は、現在もりハビリを行っています。



- ・ 2歳児との合同保育時に発生
- ・ 泣き声で事故を把握

この部分に指を挟む



この扉が、本体の枠に入りこむ形態になっていて、指が吸いこまれるようにはさまることが、そもそもの問題。扉が枠を覆う形態になっていれば、それは起きない。

製造者の問題であり、園は販売者、製造者に改善を申し入れるべき。

「自分たちの責任」と泣き寝入りしていたら、製品はいつまでたっても安全にならない。（掛札）

【事故を防ぐために】

- ・ 玩具、遊具の正しい使用方法をしっかりと確認すること。本件に無関係
- ・ 玩具、遊具は年齢や発達による違いにあわせて、適切なものを提供すること。製品が危険
- ・ 特に合同保育の際は、各児童の年齢や発達に違いがあることを考慮し、提供する玩具、遊具や、児童の行動に細心の注意を払い保育すること。製品が危険
- ・ 玩具、遊具が破損等により危険な状態にないか、日常的に点検すること。製品が危険
- ・ 転倒の可能性がある玩具、遊具を使用する場合は必ず、保育従事者がそばで見守ること。転倒？ 本件に無関係
- ・ 保育従事者の立ち位置を決め死角を作らないようにし、持ち場を離れる場合は声を掛け合うなどして連携し保育すること。

職員の業務は、子どもを監視し続けることではない。監視せよと要求するなら、配置を増やせ。そして、保護者対応でよりいっそうの人手が必要な送迎時には加配を。なにより、子どもにとって危険な製品を作っている製造者を野放しにするな。